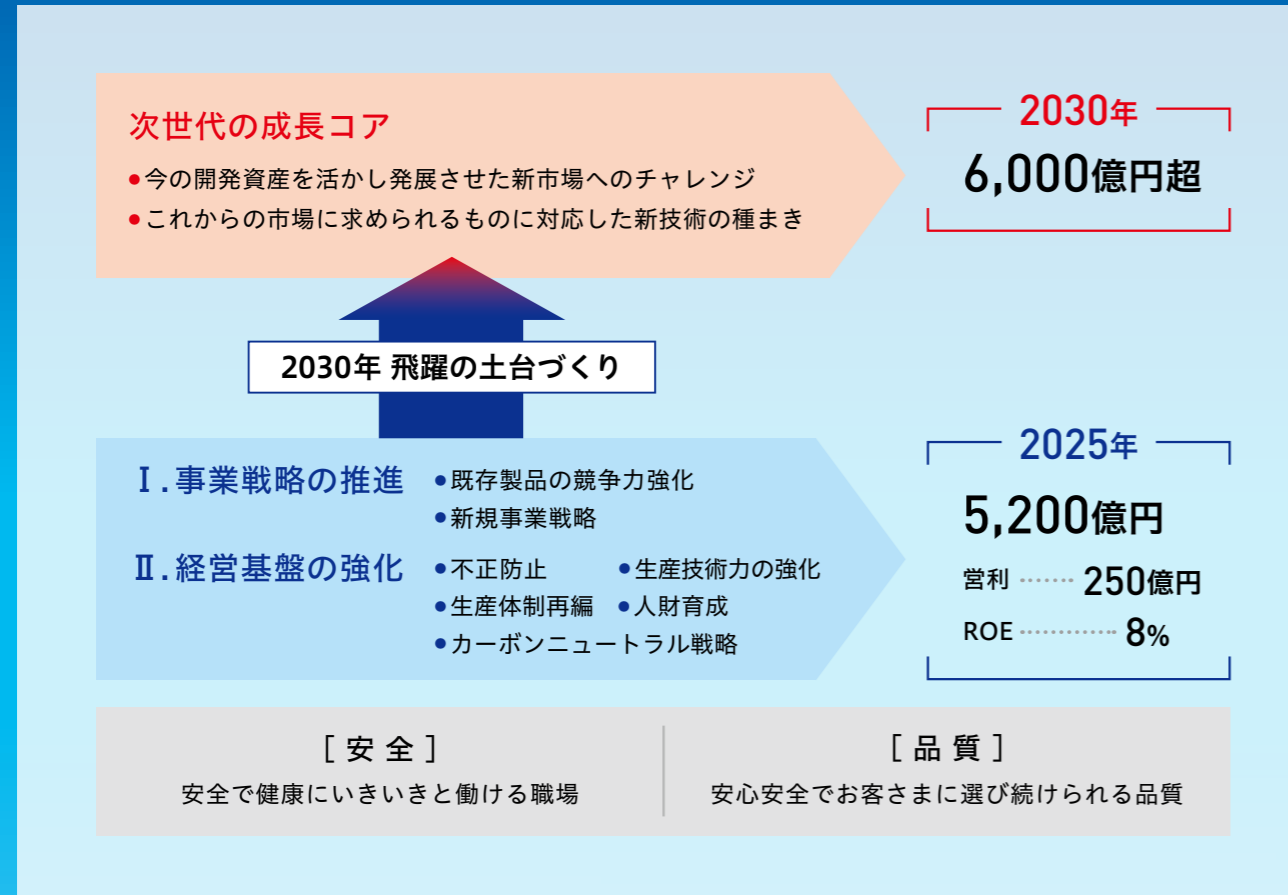


中期経営計画

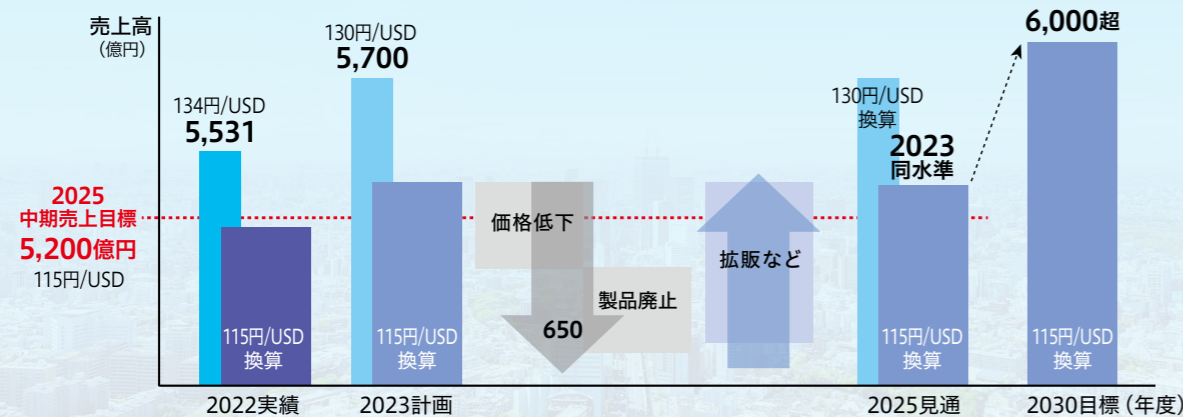
中期経営計画では、2030年のめざす姿と、その飛躍の土台づくりとして2025年までの戦略を策定しました。その中期経営計画の全体像を説明します。



中期経営計画 売上目標

- 2025年度に立ち上げる戦略製品群の受注確保
- 北米、インド市場での新規拡販などにより、2025年度中期売上目標は達成見込

次世代の成長コア
— 新領域へのチャレンジ
— 新技術の種まき



I. 事業戦略の推進

既存製品の競争力強化

ヒューマン・マシン・インターフェイス領域では、シフトバイワイヤシフターのラインアップを拡充すると同時に、加飾やモジュール化などで他社との差別化を図り、新規の採用を拡大しています。

自動運転、電動化のコックピットに対応する製品として、

照明透過加飾や世界最小コラムスイッチなどの開発を完了しました。

また、インドで、スマートエントリーやデジタルキーを新たに受注するなど確実に拡販を進めています。



新規事業戦略

デジタルキー・ゲーミングキーボードを中心に、新規事業拡大に向け活動を継続しています。

社用車を管理するサービスをBqey、レンタカーを非対面で実現するサービスをUqeyへと、新ブランドに改め、Bqeyでは、法規に対応するアルコール検知機能を追加するなど、サービスの向上も図り普及をめざし活動をしています。

さらなる将来の成長コアとして、半導体事業の強化を図っていきます。

これまで自社製品用に製造していた半導体事業の特徴・強みを活かし外販にチャレンジし、2030年度に50億円の売

上獲得をめざしています。また、電動化や自動化など、クルマの変化に伴い、ますますニーズの高まるソフトウェアを含むECU事業を強化・拡大していきます。



TOPICS eスポーツブランド「ZENAIM」

これまで培ってきた、スイッチ・センサー技術を活用し、eスポーツ向けゲーミングギアブランド『ZENAIM(ゼンエイム)』を誕生させ、ブランド第1弾として、『ZENAIM KEYBOARD』を発売開始いたしました。

開発にあたっては、eスポーツトッププロチーム「ZETA DIVISION」の監修を受け、世界最高レベルの性能を実現しました。



II. 経営基盤の強化

不正防止

不正防止、コンプライアンスの観点で、監査体制、内部通報制度の充実につとめています。

一つの相談窓口ではなく、社外弁護士による窓口や各職場の相談員制度、従業員のご家族専用窓口など、その実効性の維持につとめています。

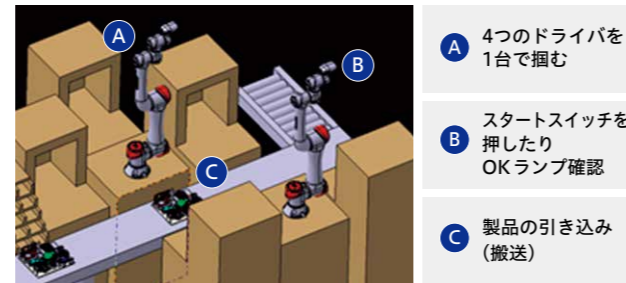
認証、検査に関しては、設計、評価、認証各機能に独立性を持たせた組織とし、検査、評価部門に対し不正について自主確認を毎年実施しています。加えて、他社事例を踏まえ、生産、品質に関わる全部署へのヒアリングと、評価担当部門への個別調査を実施しています。

生産技術力の強化

生産ライン自体の効率化、省スペース(1/nコンセプト)の実現をめざし、生産センターと相互連携を取りながら競争力強化を図っています。

近接化・スペースの大幅低減を図ると同時に、協働ロボットを導入し、多品種に対応できる汎用性を持ったラインを実現しています。

[協働ロボットによる多能工化]



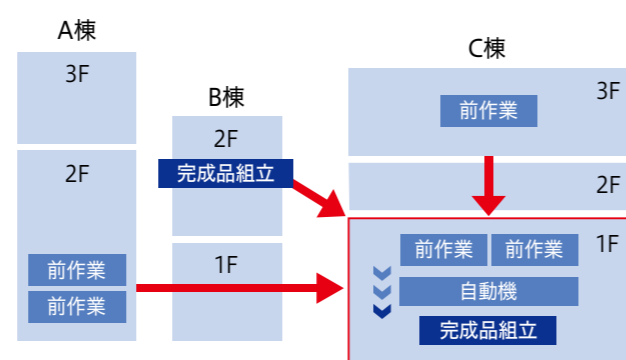
生産体制再編

「溜めない、運ばない、触らない」をキーワードに、徹底的にモノの流れと物流の効率化を追求し、生産体制再編を着実に推進しています。建屋間の運搬を最小限に抑え、工程の近接化を図り運搬を低減し、どうしても残る運搬は自動化を推進し、AGVの社内製作などにも挑戦しています。



社内製作 AGV

[工程の近接化]



人材育成

会社の持続的成長には、人材の価値を最大限に引き出すことが不可欠です。

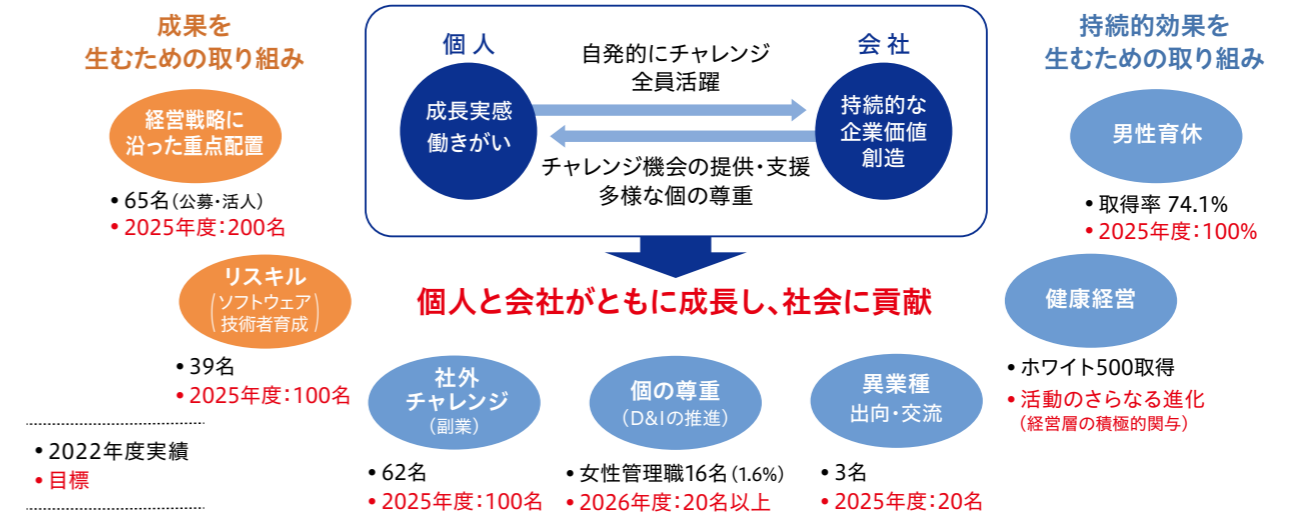
2022年に策定した中期事業計画を実現するための東海理化の成長エンジンを動かすのは従業員一人ひとりの考動です。

重点事業領域や、新領域/新技術での拡販に向けた重点配置やリスクといった「成果を生み出す取り組み」を進めて

います。

また、会社は従業員に対し、チャレンジする機会の提供や支援、多様な個を尊重するような取り組みをしています。そして、全ての従業員が自発的にチャレンジ、活躍することにより、会社の持続的な価値創造につなげていきます。

[人材の価値を最大限引き出し、会社の持続的成長へ]



カーボンニュートラル戦略

2021年に公表いたしました「カーボンニュートラル戦略2030」の目標達成をめざし活動を推進しています。

生産においては、生産CO₂の2030年60%低減を目標に、エネルギーの見える化や、再エネ導入をすすめ、製品においては、竹と樹脂のコンポジット材である「Bamboo+」の開発を進めています。

Bamboo+は、竹と樹脂材料を混合することで、材料自体

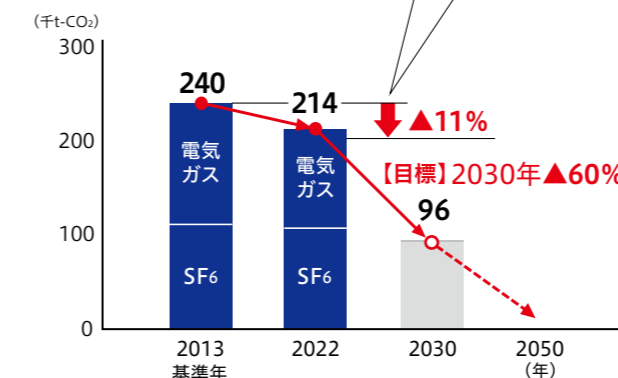
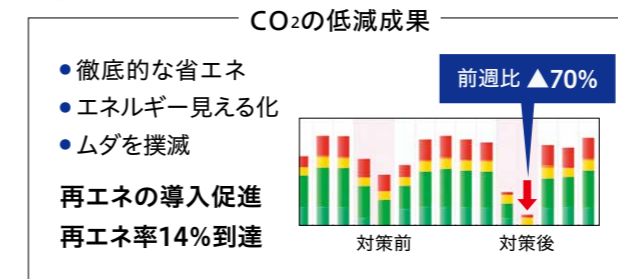
のCO₂量を半分にでき、多くのお客さまに関心を持っていただいています。

また、サプライチェーンでの再エネ導入を加速させるため、地域初の取り組みとして、協力会と再エネ合同調達を行いました。

これらの活動が評価され、トヨタ自動車株式会社より、2年連続で環境推進優秀賞を受賞しました。

[カーボンニュートラルの着実な推進]

生産戦略

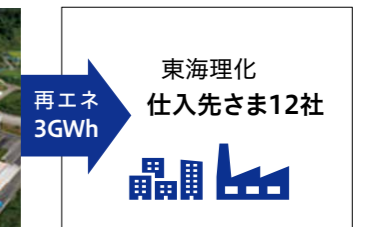


調達戦略

協力会12社と再エネ電力を共同調達 (2022年11月プレスリリース)



物流倉庫 屋上太陽光



製品戦略

竹コンポジット材の開発



お客さまの評価

(2年連続) 環境推進優秀賞 トヨタ自動車株式会社より受賞

